

魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 陸朗



第3005回 例会

2016年 2月 5日

- 1、点鐘・握手
- 2、君が代 斉唱
- 3、誕生祝 なし
- 4、ニコボックス なし
- 5、四つのテスト唱和 (愛宕SAA)
 - (1) 真実かどうか
 - (2) みんなに公平か
 - (3) 好意と友情を深めるか
 - (4) みんなのためになるかどうか以上です。



5、会長挨拶(羽田会長)



- ・立春も過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。インフルエンザが流行っています。気を付けて下さい。
- ・中川さんの月命日にお参りしてきました。奥様は「いいロータリーの皆さんに恵まれて～、もう少しこういう生活を続けさせてあげたかった」と言って感謝されました。
- ・3月より、竹内友美さんが事務局になります。

・今月は平和・紛争解決月間です。

・来週は建国記念日です。日本には不幸な時代がありましたが、オリンピック・ワールドカップで日の丸と親しみ、若い人に浸透しているのではないかと思います。

6、幹事報告(川岸幹事)

(1)ガバナー事務所より、2016～17年 地区委員(友情交換委員会)1名派遣の依頼が来ています。2月12日まで報告依頼です。

(2)白山RCより地区大会決算報告が来ています。

(3)2月例会について

- ・2月12日 職業奉仕委員会の優良従業員表彰です。
- ・2月19日 卓話 寺田さんです。
- ・2月25日 卓話 平崎さんです。
- ・2月26日 有志で台湾旅行をします。

(4)SAA補助は、杉野さん、中島さん、中田さんです。

(5)ガバナーマンスリーに魚津RC60周年記念事業についての写真が載っています。

7、出席報告(仙丸出席委員長)

・本日の出席 25名 欠席 5名 出席率 82.75% でした。

・3003回例会の出席率は、メイクアップなしで、86.20% 変わらずでした。

8、ニコボックス なしでした。



9、委員会報告



(1)広報委員会より「ロータリーの友」の紹介(寺田副委員長)

- RI会長がソウルでの第107回国際ロータリー年次大会で「韓国で世界とつながろう」と参加を呼び掛けています。
- 未来を担う子供たちや若い人たちのための記事が載っています。魚津RCもインターアクトで活動しています。

•スキージャンプの葛西選手の記事があります。

その中で特に、「スランプにおちた時に、お母さんの手紙で元気づけられた」とありました。以上です。

10、生駒さんより、お知らせ。

•去年「魚津のパン屋さん」の撮影にこられ、ロータリーの皆さんにご協力をして頂きました。やっと出来上がりました。

•北陸新幹線開通1周年記念として、「ロケ隊 うおづ」の為に、発表会があります。

3月13日 新川文化ホール 午前・午後の 2回

3月19日 新川文化ホール 午前 1回

3月18日 魚津埋没林館ホール

魚津の為に映画を作ったので、是非ご参加して下さい。

•入場券(無料)は、北日本新聞新川支社(支社長 佐藤さん)まで、お願いします。



11、新しい事務担当の竹内友美さんより抱負

•2月より商工会議所に入りました。

•3月より佐渡さんの後任として、よろしく申し上げます。



12、卓話

「建物の杭について」

平崎 暉夫さん



•私は大手ゼネコンで建築に携わっていました。

昨年発覚しました建物の杭基礎問題について、私見を含め業界の実態をお話しをします。

•この発端はコの字型のマンションの角の部分で3センチ位の段差が生じたことから問題点が発覚した。

•問題はマンションの杭が支持面に届いていないことです。

(1)事業形態について

•事業者、請負業者、杭工事請負業者、杭工事施工業者、作業員 で誰が一番悪者か。マスコミは雇用をしていたところを叩いた。

そうではなく、仕事を請けた建設会社である。

(2)建築物における杭工事の重要性について

•基礎が一番大事である。

•工事の専任(担当者)がいくつも兼任していた。兼務は認められています。

•昔の杭打ちは、騒音・振動などで回りに迷惑をかけたので、現在はスクリュウで掘って、セメントで固める方法です。

(3)建築確認書とデータの保管義務について

建築工事であり、確認書は必ず提出しなければならない。

杭打ちデータも、配筋・強度も行政に提出しなければならない。

データは電算化されているので、手でやったデータが改ざんできない。

(4) 杭が支持地盤にとどいていないについて

マスコミは地盤に届いていないところがあるといっている。

730本の杭は支持と摩擦によって建物を支えている。

(5) 杭打ち工事の実態

杭打機と地盤面の敷鉄板の関係

杭施工順番の手順

杭の制作・・・杭径と杭長 30R 道路交通法

いろいろの条件で現場制作など変更される。

(6) 結論

”杭工事は非常に大切である。

一番の悪は、ゼネコンが責任を持つべきである。”



[あとがき:寺田]

・台南の大地震で崩壊したマンションの柱に一斗缶がはめ込まれていた。外側がきれいならば、誰も偽装を疑う者はいない。杭打ちも然り。このマンションのケースは氷山の一角なのだろうな。

・ポールハリス語録ーその15 (2012年9月29日配信)

「奉仕は最高の道楽なり」(Public service is the best kind ob hobby)

ポールをして言われれば、「事業は人生における重要事ではあるが、それだけが人生の全てではない。人生にはまだまだやるべきことがたくさんある。そんな事業一筋の人は逆境にたった時にどうしようというのだ。まして、事業から引退して後進に道を譲らねばならなくなった時、彼は何に生きがいを見出そうとするのか」

ポールは趣味として奉仕一辺倒の話しかできないほど野暮ではなく、鳥を愛し、景色を愛し、愛妻ジーンと一緒に夕陽を眺めて大騒ぎする人だったという。この世に与えられた一度限りの人生。お互いに生まれも育ちも違う同士が、ロータリーを縁に友となり、お互いの職業奉仕やロータリー活動を語り、それに留まることなく困難な状況にある人や私たちの助けを求めている人々のために応分の奉仕活動をさせていただく。これがロータリーでしょう。そこにどうして争い事がありえましょうや。友愛を深めながら奉仕活動を共にすることに喜びを感じ、笑顔あふれるところに人は集まってきます。多少ロータリーとしての取り決めから逸脱しても、人のお役に立たせていただく気持ちがあれば、それもまた良しと、ポールは笑って許してくれるのではないのでしょうか。ロータリーの原則について論じることも大事だと思いますが、論じることがともすれば、こうあらねばならぬ論へと傾斜してしまい、生き活きとしたロータリー活動を縛る傾向にあるのは残念なことです。

「論じるだけの決めつけだけのロータリーでは役にたたない」

No dogmatic Rotary can be serviceable. (ThiS Rotarian Age)

* みんなで楽しい仲間といっしょにロータリーライフをエンジョイしたいものです。

(ロータリーの友 広報担当より)